



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yoshitaka Hukuhara 〒659-0023 14-20-714 Kusunoki-cho Ashiya
 Hyougo.JAPAN
 Mail : y-fukuhara@ae.auone-net.jp Tel 0797-38-8332

主 題

国際協会会長 IP Isaac Palathinkal
 言葉より行動を Theme: Talk Less, Do More
 アジア地域会長 岡野泰和
 未来を始めよう、今すぐに Start Future Now
 西日本区理事 松本武彦
 響きあい、ともに歩む
 To walk together, echoing each other
 六甲部部長 多胡葉子
 あなたとわたしの Y's ダムを YMCA とともに-コース、交流、地域-
 Y's dom is yours and ours. Let's share it with YMCA
 Youth, Friendship and Community-
 芦屋クラブ会長 福原吉孝
 ハツラツと爽やかなワイズの活動を地域社会に広げよう
 Let our actions Shine in the Community!

会 長 福原吉孝
 直前会長 羽太英樹
 副 会 長 五十嵐政二・堤 清
 書 記 柏原佳子・羽太英樹
 会 計 桑野友子
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六 甲 部 羽太英樹 (広報主査)
 上野恭男 (六甲部監事)

10

OCT, 2014
 209号

EF・BF 強調月間です

交流委員 上野恭男

国際組織であるワイズの一員として、各国ワイズメンズクラブの中でも発展途上にある国々のクラブを覚え、感謝の気持ちをもってEF、BFを献げよう。そして、ワイズの発展を実感しよう。と川本龍資 国際・交流事業主任は述べます。BF・EF献金の目的やその用途を各部部长様始めクラブメンバーの皆様にお伝えし、ご理解・ご協力ください。とも強調されています。

EFとは エンダウメントファンドです。信託基金として国際ワイズメンズクラブ発展のために積み立てるのです。記念すべきことがあれば、感謝の気持ちをもって捧げましょう。

BFとは ブラザー・フッド資金。国際役員やBF代表が公式訪問する旅費にあてるものです。全ワイズが使用済み切手を集めて資金を作ります。

川本主任は今年も理事ゴールを達成するためにも、西日本区のワイズに目標の100%達成を呼びかけています。芦屋クラブは100%を達成し、この6月の西日本区大会で表彰を受けています。

無理しないで、ポチポチでいいのです。使用済み切手の回収は名目となり、目標金額の献金と変わりましたが、切手回収は少なくなくても続けていきたいものです。 以上

今月の聖句

主は、地上に人の悪が増し、常に悪いことばかりを心に思い計っているのをご覧になって、地上に人を造ったことを後悔し、心を痛められた。
 <創世記 6:5 6>

10月第1例会プログラム

と き:2014年10月15日(水) 19:00~21:00

と ころ:H竹園3F

司 会:都筑省三ワイズ

受 付:桑野友子会計・福原美鈴メネット

- | | |
|----------------|----------|
| 1. 開会点鐘 | 福原吉孝会長 |
| 2. クラブソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖書朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 都筑省三ワイズ |
| 5. 食前感謝 | 藤川晃成ワイズ |
| 6. 食事・歓談 | |
| 7. 谷崎潤一郎を語る | 井上勝博学芸員 |
| 8. 第2例会議事録の承認 | 福原吉孝会長 |
| 9. 事業委員報告・その他 | 各委員&メンバー |
| 10. YMCAニュース | 藤田良祐連絡主事 |
| 11. ニコニコ献金報告 | 島田 恒ワイズ |
| 12. 誕生祝い | 福原吉孝会長 |
| 田舎庸男ワイズ、堤 清ワイズ | |
| 13. 閉会点鐘 | 福原吉孝会長 |

9月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手	
メンバー	14名	出席者	14名	累計	0g
ビジター	7名	メイクアップ	2名		0g
ゲスト	4名	合計	16名		
メネット	5名	在籍者	18名	ニコニコ	16,506円
コメント	0名	(内広義会員1名)		累計	47,607円
合計	30名	出席率	82.4%		

9月第1例会報告

日時：8月20日(水)19:00～21:00

場所：ホテル竹園芦屋3 F

敬称略

出席者：五十嵐政二、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、権甲植、篠坂幸彦、都筑省三、羽太英樹、福原吉孝、藤川晃成、坂東幸子各ワイズ、大澤昌子、五十嵐かほる、島田保子、羽太光子、福原美鈴、各メネット、藤田良祐
連絡主事

ピジター：西村寛子メネット主任、森節子メネット書記、大野智恵主査、橋本和子、京極美栄子、森愛子、山本洋子

ゲスト：小泉二郎、中岡亜希、ウィリアム・モア、アン・モア

9月度芦屋クラブの例会は、メネット強調月間としての開催となったが、まずは、みどり作業所の大澤メネットに支援金の贈呈を行った事を報告しておきたい。



さて、メネット会事業方針は希少難病を支えるユニバーサルフィールドの活動支援である。その病態、活動内容等についてほとんど知られていない。まずは「希少難病を知る事から始めよう」という六甲部メネット会テーマの元、スピーカーとして小泉二郎理事、中岡亜希副理事を招き講演を拝聴する事となった。

小泉理事より、遠位性ミオパチ-の実態と専門医での研究に関する進行状況等の説明があり、その難しい課題に挑戦している報告を聞いた。続いて遠位性ミオパチ-という難病を抱える中岡副理事のお話を拝聴する事となった。



遠位性ミオパチ-は突然の発症であり、手足の末梢から次第に筋肉が衰え動かなくなる原因が特定できない難病である。中岡副理事は元キャピテンダントとして活躍されていた方であり、お若い方であり、車いす生活となったにも関わらず、難病に負けることなく目覚ましく活動されユニバーサルフィールドを小泉理事と立ち上げ、障がい者との連携と健常者への協力を社会に向けて発信している。次第に衰えていく障がいに負けない明るい活動的な姿勢が素晴らしく感じた。会場はいつも増して、ゲストが多く、また女性が多く出席して頂いた。会場からはきらきらとする目で、熱心に拝聴している姿が印象に残る。会場からもミオパチ-の病態、難病に対する応援についての質疑、ユニバーサルフィールドの活動に関する質疑等大変熱心な例会となった。なお、今後、六甲部メネット会は支援の為の第二段としてチャリティーコンサートを開催に向けて準備している。今後もしっかり応援していきたいと考える。

芦屋クラブの皆様、治療もなく困っている患者さんの実態、どのように支援したらよいか？今後の事を考えるよい機会となったのではないのでしょうか・・・

最後に小泉理事、中岡副理事の益々の活動を願いたいと思う。

福原吉孝 美鈴

<寄稿> メネット事業「希少難病支援」

所変われば・・・。同じ六甲部内のワイズメンズクラブですが、やはりそれぞれのカラーがあるものですね。メンバーが違うのですから当たり前ですが、他クラブ例会訪問の経験が少ない私にとっては新鮮に感じられました。例会の進行がスムーズで内容もよく工夫されており、しかも明るい雰囲気の中で進められていることに感心いたしました。ピジターである私に対しても多くの配慮があり、大変温かく迎え入れてくださったことに、とても感謝しております。ワイズ以外の方も含めたくさんの方が例会に参加され、「希少難病患者支援」について理解をしていただく機会を作って下さったことは、大変ありがたいことでした。

今期メネット事業のテーマである「希少難病患者支援」を進めるにあたり、まず「希少難病患者」の厳しい現状を学び、自分たちにはどんな支援ができるかを考えることから始めました。今回お話を聞いていただいたことで、患者さんでありながら「運命を使命にかえて」前向きに活動されている中岡さんと、その支援活動を行う方々のことを知っていただけたことが、取り組みの第一歩になったと思います。支援の輪を広げていくために、これからもご協力をよろしく願います。

六甲部メネット事業主査 大野智恵(神戸ポートクラブ)

EMC 委員の会に参加しました

大田厚三郎 EMC 主査の呼びかけで、10月3日(金)、六甲部EMC委員の会が賀川記念館で開催され、各クラブより12名、芦屋クラブから柏原・桑野が参加しました。

会では、いろいろな提案や議論がありましたが、「六甲部新200チーム」発足案を承認しました。

メンバーは、リーダーは大田厚三郎主査、サブリーダーは3名とし、多胡葉子六甲部部長、進藤啓介六甲部次期部長、小野勅紘直前主査、委員は8クラブEMC委員及び会長としました。期間は今期より長期5年計画で実施し、次期評議会で審議される運びとなるかと思います。EMCとしての活動内容、各クラブの取り組みなどが活発に発表され、例会の工夫、在り方、ワイズメンズクラブの知名度を上げるため地域の交流が大切とし、例として、さんだクラブのバレンタインコンサート、宝塚クラブの市民コンサート、芦屋クラブの「さくらまつり」が挙げられました。

西宮クラブのリーフレットが参考資料として配布され、芦屋クラブからも新たなトラクト編集の実情を報告。

また、EMC主査集計は六甲部独自で例会充実度を入れることが提案され承認されました。

次回は来年1月29日(木)開催予定。

EMC委員柏原佳子

第13回六甲部部会 < 第1部 >

天候不順の夏も終わりに近づいた9月6日の土曜日、西宮・上ヶ原ボラの並木道沿いにある関西学院会館で開催された六甲部会に参加した。芦屋クラブからは福原会長、上野、島田、都筑、柏原、桑野各メンと共に参加した。西日本区役員と六甲部以外の他部からも大勢の参加があり、140名を超す盛会。会場が狭く感じられた。開会式と講演会の模様を報告する。

定刻の10時半に六甲部各クラブ会長がバナーを掲げて入場、多胡葉子部長より六甲部がサポートする神戸YMCAが今、新しいチ



ャレンジをしている。その応援と更なる8クラブ間の交流を願って開会挨拶・点鐘。ワイズソング、聖書朗読、祈祷、賛美、来賓挨拶をもって開会式は終了し、関西学院大学名



誉教授・武田健氏による「心の育ち方、育て方」と題する講演会へと移る。武田教授は関学中・高・大学の尊敬する大先輩である。教授の武田と言

うよりもアメフトの武田で知られる。話し方は実にユニーク(漫談?)聴衆を引き込む話術は、留学中に学ばれた「カウンセリング心理」で磨きがかかったのかも・・・「勉強もフットボールも米国のトップに出会う機会に恵まれた」と語られたのが印象的だった。心の成長のための人生の指針を与えてくれる人、人間としてのお手本となる人がいるか?と問われる講演だった。関学で10年学んだ後輩として、関学はそのチャンスをくれたと信じている。

羽太英樹

第13回六甲部部会 < 第2部 >

6年前、柏原会長の下、開催された芦屋クラブ10周年祝会と同じ関学会館、広い会場に関学ジャズビッグバンドがずらりと並ぶ舞台、テーブルごとにサービスされた料理等々を思い出しながら会場へ。

武田健名誉教授のユーモア溢れる講演の後、隣の懇親会会場に移ると、人人で一杯、ファンドのクッキーを置く場所もなく後ろの方で立っていると、間もなく始まった宝塚クラブご自慢のフラダンス、舞台がないので後方からは殆ど見えない。たまにフラガールの振れるレイやスカートが見え隠れする。仕方がないので後方で静かにクッキーの販売を始めると手持無沙汰のワイズが次々に買ってくれる。そうこうするうちにbuffetスタイルの食事が始まる。でも場所と人数のアンバランス

でなかなか料理には近づけない。やっと並んだ頃にはもう残りの料理がチラホラ、お皿に少し料理を取り、大急ぎで食べ終わると、またクッキーを販売して完売。(ご協力有難うございました)



西日本区各地から六甲部の参加メンバーより多いワイズが参加されて部長の活躍ぶりが見て取れる。

クラブ紹介に続いて、来年の西日本区大会や京都で開催のアジア大会がアピールされる。

飲み物はドリンクバーでワインをはじめ色々サービスがあり、飲める向きには好評かも。でも高齢者が多くなったワイズで2時間の立ちっぱなしは、一寸きつい。6年前はもっと会場を広く使えたのに、当日はお隣の会場で結婚披露宴があるとわかり納得。お疲れ様でした。

桑野友子

< 随想 >

わたしとワイン

今や世間では「食卓にはワインを！」がライフスタイルのひとつに。ひと昔前までは「特別な時の特別な飲み物」だった。私も日常的に飲みだしたのは、確か25年前のバブル期の少し前だったと記憶している。ボージョレ・ヌーボー(仏・ボージョレ地方の新酒)解禁日には1分でも早く午前0時を待ってホテルやレストランで大騒ぎ。(我が国だけで他国では見られないとか)又、赤ワインのポリフェノールが体に良いと女性方に大ブーム。あちこちで(ワイン講座)(ワイン会)が開催され、これには私も参加した。そこで「ワインは単なる飲み物でなく繊細で多様な味と香りで食事(料理)と会話をじっくり楽しませてくれる物だ。」を学んだ。時として仲間が集まると、その誰もが(私も含め)まるでソムリエ気分であれやこれやと饒舌にワイン批評をしあっている姿は実に大人げなく楽しそう・・・。勿論、多くのご家庭でも「今夜は久しぶりに息子夫婦と孫たちが帰ってくる」と手料理に合うワインを探し求める姿も微笑ましい。

(ワイン = 高価)は昔の話、私はデイリーワインには¥2000円までのニューワールド(ヨーロッパ地域以外の)ワインを愛飲し特に南アフリカ、オーストラリア、カリフォルニア、チリの掘り出し物を・・・。ワインは恋人探しの如く様々の人と様々のワインが出逢うもの。自分好みのワインをお客様に薦めても期待外れの時も。それくらい好みは千差万別だから。今夜は「明石鯛の刺身」、よく冷やした(オーストラリアのシャルドネ(白))で・・・。

篠坂幸彦

今月のスピーカー

演題: 谷崎潤一郎を語る

井上勝博氏 芦屋市谷崎潤一郎記念館学芸員
神戸大学史学科卒
大阪大学、神戸大学、神戸大学大学院、京都造形芸術
大学講師を経て、現在 武庫川女子大学講師

9月第2例会議事録(抄)

とき: 9月24日(水) 18:00~20:15

ところ: 柏原佳子ワイズ邸

<出席者> 福原吉孝、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、都筑省三、羽太英樹各ワイズ、藤田良祐連絡主事

<議案>

- 1) 10月第1例会(10月15日)
講師: 井上勝博氏 谷崎潤一郎記念館学芸員
演題: 谷崎潤一郎を語る
- 2) 11月第1例会(11月19日)
講師: 阪田晃一氏 神戸YMCA余島スタッフ
演題: 東日本大震災で被災した福島の子もたちを余島キャンプ場に招待したプログラムの報告を通じてYMCAの活動を学ぶ。
- 3) 11月第2例会(11月26日)は柏原佳子宅にて開催。
会議後一品持ち寄り夕食親睦会。
- 4) 神戸YMCAチャリティゴルフコンペ(10月22日)
参加者 上野、福原、柏原各ワイズ
- 5) 六甲部EMC委員の会(10月3日)於: 賀川記念館
参加者: 柏原、桑野各ワイズ
- 6) 今期ジャガイモファンドの件
桑野委員が注文受付中。昨年並みの受注を見込んでいる。10月10日(17:30)西宮クラブ濱ワイズの深江倉庫で受け渡し、当日の配達と宅急便の手配をする。翌11日福原、桑野各ワイズが配達に当る。
- 7) トラクト作成の件
トラクトを分かりやすく改訂を実施する。
2月の第2例会でまとめられるよう、各会員は案を練っていただきたい。最終案を畠中メネットにレイアウト・印刷をお願いすることにする。
- 8) 8月決算報告が桑野会計よりあり、承認。
- 9) その他
* 希少難病について六甲部大野主査より、六甲部メネット会主催で、来年4月4日に難病支援のチャリティーコンサートの計画の報告があった。
* 神戸YMCAチャリティーラン(11月3日)チヂミの鉄板・プロパンを今回はYMCAで用意してもらうよう依頼する。準備委員会(福原会長出席予定)で確認してもらう。
例年通り竹園と堤メンに協賛品提供をお願いする。
* 第2例会会場を提供いただいた柏原書記に感謝。



YMCA ニュース

1. 豪雨災害ボランティア派遣
9月に三田センターを中心に丹波市の被災地へボランティア派遣を行い、夏のキャンプに続き、ここでも啓明学院高校の皆さんと作業を進められました。
2. YMCA幼稚園、保育園
神戸YMCAちとせ幼稚園は2015年度より「施設型給付」を受ける認定こども園(幼保連携型)に移行、西神戸YMCA幼稚園は、現行通り私学助成による運営を継続。また、YMCA保育園、西神戸YMCA保育園、西神戸YMCA会館新設園は幼保連携型認定こども園に移行、西宮YMCA保育園、西宮つとがわYMCA保育園は見送ることとなった。また、学園都市の西神戸YMCA会館新設園の名称は「神戸学園都市YMCAこども園」と決定。
3. 9月13日、ユースプラザKOBЕ・EAST 中高生の”しゃべり場”で「中高生しゃべりば with 神戸市長」が行われ、「神戸と環境」をテーマに久元喜造神戸市長と中高生がディスカッションを行いました。
4. ファンドレイジングの試み、神戸新聞社と開始
神戸新聞社とタイアップし、神戸新聞の新規購読者の獲得で、神戸YMCAに寄附をいただくというファンドレイジングの試みが始まりました。神戸新聞を購読者に紹介すれば1件につき3,000円が神戸YMCAに寄附される仕組み。ご協力よろしくお願いします。
5. 今後の予定
 - 1) 第31回チャリティゴルフ
日程: 10月22日(水)
場所: 芦屋カンツリー倶楽部
 - 2) 秋のバザー
西宮YMCAカーニバル 10月19日(日)
学園都市YMCAわいわいまつり 10月26日(日)
 - 3) 第17回神戸YMCAチャリティーラン
日時: 11月3日(月・祝) 午前9:00~午後3:00
場所: しあわせの村(神戸市北区山田町)

連絡主事 藤田良祐

編集後記

電話の向こうから、柔和なお声が! 「ジャガイモは今年もいただきます」と故町永昭五ワイズの友人のご夫君が電話口で話された。芦屋クラブのクリスマス会にも参加したとのこと、町永メネットも亡くなった今、町永先輩の本は読まれましたか? など懐かしいお二人を偲んで初めてとは思えない会話を交わし、改めて絆に感謝。
今年も秋の気配がジャガイモファンドを連れてやってくる。「忘れずにお知らせありがとう」のメールも、「届きましたよ」のお電話で会話が弾むのも嬉しいもの。ファンド委員には大変な作業だけにいつまで出来るのかな・・・、なんて考えることは今はよそう。秋の夜長は、ほっこりあったかなジャガバタにドイツワインは如何でしょうか。

柏原佳子